

放課後子ども教室について

放課後子ども教室が目指すもの

すべての小学生を対象として、放課後や週末等に小学校などで、安全・安心な子どもの居場所づくりを進めます。また、地域の方々の参画を得て、子どもたちにスポーツ・文化芸術活動や勉強、地域住民との交流の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進していきます。



地域で支える『子どもの居場所』

現在、亀山市のすべての小学校区（川崎、関、加太、野登、神辺、亀山南、亀山西、昼生、白川、井田川、亀山東）で放課後子ども教室が行われています。また、この運営は、それぞれの学校区ごとに地域の方々の参画を得て、子どもたちがさまざまな体験活動を通じて地域の大人たちとの関係の構築を図っています。

放課後子ども教室の運営は、地域の実情に即して実施場所、活動内容、実施日を決めています。『学習アドバイザー※1』や『安全管理員※2』、『コーディネーター※3』等の直接運営に携わっていただいている方々はすべて地域のボランティアとして活動しています。

このような『地域の実情に即して小学校区ごとでの実施』については、亀山市の特徴となっています。

※1 学習アドバイザー：子どもたちの学習をサポートする講師

※2 安全管理：子どもたちの安全管理を図るサポーター

※3 コーディネーター：活動プログラムの作成、保護者を含めた地域住民への参加の呼びかけを行う総合的な調整役